

ギニア月報(2019年11月)

主な出来事

【内政】

- 9日、独立選挙管理委員会(CENI)は、国民議会選挙を2020年2月16日に実施する旨発表。
- 14日、護憲国民戦線(FNDC)は、コナクリ空港からデモ行進を実施し、治安当局と衝突。3名が死亡。

【外政】

- 13-15日、シャンバス国連特使(Mohamed Ibn Chambas)は当地を訪問、コンデ大統領、政党関係者(UFDG, UFR, RPG)、独立選挙委員会(CENI)、FNDCを含む市民社会、外交団及び国連関係者と会談し、対話による問題解決を要求。

【経済(経済協力含む)】

- 12日、SMB社(ボケ鉱山会社)は、ギニア南東部のシマンドゥ鉄鉱石鉱山の第1ブロックと第2ブロックの採掘権を獲得。コナクリからシマンドゥまで延長650kmの鉄道が敷設される予定。

1 内政

- ・ 1日、ギニア軍創設61周年の式典が各地の駐屯地で開催。
- ・ 4日、護憲国民戦線(FNDC)支持者は10月14-15日のデモ犠牲者を埋葬するため、埋葬行進を実施。バンベトー地区で行進参加者と治安当局が衝突、2名が死亡、複数名が負傷。
- ・ 7日、FNDCは、タヌリ交差点から9月28日スタジアム前広場まで、平和的な行進を実施。FNDCの発表によると200万人が参加。
- ・ 9日、独立選挙管理委員会(CENI)は、国民議会選挙を2020年2月16日に実施する旨発表。
- ・ 11日、一部閣僚の交代が行われ、新たにレミー・ラマ保健大臣とカマラ治安・市民保健大臣が就任するとともに、フォファナ法務大臣代行が大臣に昇格した。
- ・ 14日、FNDCは、コナクリ空港からデモ行進を実施し、治安当局と衝突。一部の暴徒化したデモ隊がバス5台を襲撃。3名が死亡。また、FNDCは、ダラバ、ボケ、フリア、マムー、クンダラ、レルマ、ガワールでデモを実施。キンディアでは無許可でデモが実施されたため、FNDCのメンバー5名が逮捕された。
- ・ 16日、コンデ大統領はンゼレコレを訪問し、大統領支持者からの熱烈な歓迎を受け、森林地方の鉱山開発(ニンバ山、ゾゴダ、シマンドゥ)開始を宣言。
- ・ 18日、ギニア政府は、2020年予算案(26兆ギニアフラン)を国民議会に提示。
- ・ 19日、FNDCは、バンベトー地区からベルビュー地区まで、女性によるデモ行進を実施。
- ・ 20日、独立選挙管理委員会(CENI)委員長は、2020年2月16日に予定されている国民議会選挙に向け、選挙人名簿の改訂作業を開始。

- ・ 22-23日、コンデ大統領はカンカンとシギリを訪問し、大統領支持者が熱烈に歓迎。
- ・ 22日、FNDC は、10月14日以降初めて、ンゼレコレでデモ行進を実施。
- ・ 26日、FNDC は、タヌリ交差点から9月28日スタジアム前広場まで、平和的なデモ行進を実施。FNDC の発表によると200万人が参加。また、FNDC は、テリメレとラベでもデモ行進を実施。
- ・ 28日、10月に逮捕された FNDC メンバーの仮釈放が決定。

2 外政

- ・ 4日、20～30歳の中国人青年(政府及び国営企業幹部)53名が当地を訪問し、ギニア人青年との交流会議を実施。
- ・ 6日、当地国連機関、EU、米仏及び ECOWAS がデモ犠牲者を追悼、暴力を非難し、平和・法の支配・民主主義が尊重されることを求めるコミュニケを発出。
- ・ 9-11日、ニアメで ECOWAS の首脳会議が開催、コンデ大統領は欠席。
- ・ 13-15日、シャンバス国連特使(Mohamed Ibn Chambas)は当地を訪問、コンデ大統領、政党関係者(UFDG, UFR, RPG)、独立選挙委員会(GENI)、FNDC を含む市民社会、外交団及び国連関係者と会談し、対話による問題解決を要求。
- ・ 14日、国際フランコフォニー機構(OIF)は、専門家3名を独立選挙管理委員会(GENI)に派遣。
- ・ 20日、コンデ大統領は、G20アフリカコンパクトに出席するためドイツを訪問。
- ・ 27日、コンデ大統領は、ブルキナファソに立ち寄り、カボレ大統領と会談。
- ・ 28-12月2日、コンデ大統領は、アラブ首長国連邦アブダビを訪問、エネルギー・鉱業・保健・運輸・農業分野の投資家と会談。
- ・ 31日、コンデ大統領は、アブダビ首長国のムハンマド皇太子と会談。

3 経済(経済協力含む)

- ・ 4日、コナクリ市コロマに建設された外務省新庁舎の竣工式が実施。同庁舎はイランが600万ドルで建設。
- ・ 11日、ギニア政府とアフリカ開発銀行は、エボラ出血熱患者の社会復帰のために1,400万ドル、ボケ及びカンカンでの農産物加工のために1,650万ドルの支援に合意。
- ・ 12日、SMB 社(ボケ鉱山会社)は、ギニア南東部のシマンドゥ鉄鉱石鉱山の第1ブロックと第2ブロックの採掘権を獲得。コナクリからシマンドゥまで延長650kmの鉄道が敷設される予定。
- ・ 13日、シラ・エネルギー大臣は、中国で開催されたグローバル・エネルギー・インターコネクション開発協力機構(GEIDCO)の会議に出席。
- ・ 14日、コマラ技術協力・職業訓練・労働・雇用大臣は、ボケ、ラベ、シギリ、ンゼネコレに続き、ダボラ、コヤ、キンディア、マムーに職業訓練校を建設すると発表。イスラーム開発銀行が2,500万ドル、ギニア政府が360万ドルを拠出予定。

- ・ 15日、コンデ大統領は閣議にて、無償資金協力案件「スンバ橋架け替え計画」の落札企業との契約締結が東京で実施された旨発表し、ファラナ橋についても架け替え交渉を進めるよう指示。
- ・ 19日、本年1月に創設された、国立経済社会統合庁 (Agence Nationale d'Inclusion Economique) が活動を開始。貧困撲滅のため、GDPの2%を割当て、今後5年以内に5%を目指す方針。
- ・ 20日、シラ・エネルギー大臣はコンデ大統領のドイツ訪問に同行し、6,200万ユーロの民間投資契約に署名、81MWの太陽光発電所建設がボケに建設される予定。
- ・ 24日、フォファナ首相は、ノンゴ・スタジアムの竣工式に出席。同スタジアムは中国が5,000万ドルを出資してコナクリ市内に建設、5万人を収容可能。ランサナ・コンテ (ギニア第2代大統領) スタジアムと名称が変更される予定。
- ・ 25日、コンデ大統領はギニア北東部のカンカンを訪問し、カンカン大学の拡張工事起工式に出席。同大学は16学部のうち2学部を中国企業 TBEA 社が建設し、学生数は2万人となる予定。
- ・ 26日、セルチュク・トルコ国家教育大臣が当地を訪問し、ケイタ協力・アフリカ統合大臣と共同で、商業・経済協力・技術分野の第3回合同会議を開催。
- ・ 28日、ギニア政府と世銀グループは、電力分野の財政支援のため、9,000万ドルを支援する旨署名。

(了)